

日本学術会議 法学委員会 セーフティネットと法分科会 (第25期・第5回) 議事要旨

日時 2022年3月22日(火)13:00-15:25
開催場所 オンライン会議 (Zoom ミーティング)
出席者 和田肇、秋元美世、有田謙司、岩永理恵、魚住明代、小澤隆一、笠井修、川嶋四郎、只野雅人、豊島明子、内藤忍、糠塚康江、廣瀬真理子、本庄武、丸谷浩介、矢野昌浩
欠席者 片桐由喜、亀本洋、橋本祐子、山田八千子 (以上、敬称略・順不同)

議事要旨

1. コロナ禍における生活保護・生活困窮者自立支援制度の実態と課題について

岩永委員より、表記の課題について報告がなされた。その後報告に関連して相談支援業務と所得保障、社会変化に生活保護が対応できていないこと、生活保護法の改革議論等について活発に意見交換が行われた。

2. 欧州における社会的セーフティネットをめぐるいくつかの論点について

廣瀬委員より、表記の課題について報告がなされた。その後報告に関してEUにおけるクラウドワーカーの保護法制に関する動向、年金基準と最低賃金、最低賃金の決定方式等について活発に意見交換が行われた。

3. その他

①手当不要との連絡があった会員・連携会員について、予算にゆとりがあるので全員手当を支払うことになった。次回(3月30日)も全員手当を支払うことができることになった旨、事務局より連絡があった。

②和田分科会長より、来年度に向けて社会システムとしてのセーフティネットについて各委員で検討してもらいたいとの提案があり、特にセーフティネットとしての刑事施設、全世代型社会保障の各論的課題などについて検討することになった。

③内藤委員にジェンダーの問題、魚住委員に家族社会学の課題を、小澤委員に憲法論を6月ころに報告頂くことになった。

④次回セーフティネット分科会は3月30日(水)、有田委員より報告予定であることが確認された。

以上